

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1996

8・9

速 報

1996年「JID賞」決まる

◎JID賞 大賞

該当者なし

◎JID賞 インテリアスペース部門

「パトリ+清里フォトアート・ミュージアム」

(株)藤江和子アトリエ

◎JID賞 インテリアプロダクト部門

該当者なし

◎JID賞 インテリア研究・著作・業績部門

「日経デザイン」

日経BP社

去る6月10日に締切られた1996年「JID賞」の選考結果は、上記の通りです。

今回より応募資格を、自薦に限らず他薦も加えましたが、応募総数は、ほぼ例年並みの53点でした。

その内訳は、「インテリアスペース部門」40点、「インテリアプロダクト部門」7点、「インテリア研究・著作・業績部門」6点です。

選考は昨年に準じて、第1次審査(7月12日、7月30日)、第2次審査(8月28日、その間に現場審査を含む)を行い、最終的に2部門2点が選ばれました。

なお、表彰式は、明年1月下旬の「新春交礼会」(東京)に併せて行います。

(本部事務局)

「目 次」

特集／本部・各委員長からのメッセージ

●本部・各委員長からのメッセージ……………	2
●会員の権益保護と社会的基盤の確立を……………	2
●会員増強、会員規定などを課題に……………	2
●海外情報の交換と交流を中心に……………	3
●3本柱と「山陰・夢みなと博」……………	4
●関連企業の広報先リストの整備を……………	5
●受託事業のケーススタディーを優先に……………	5
●会員の研究活動を支える事業に……………	6
●デザイン保護とは、我が子を育てるようなもの…	6
●各委員会及び各事業支部の役割分担……………	7
●平成8～9年度運営組織図……………	8
●「IFI理事会及び北欧5カ国会議」出席報告……………	11
●平成8年度・第1回理事会報告……………	12
●奥宮 守名誉会員を偲ぶ……………	14
●坂本康四名誉会員を偲ぶ……………	15
●「IFI news」抜粋'96年3月号……………	15
●家具の試作を引き受けます……………	17
●関東事業支部の動き……………	17
●中部事業支部の動き……………	18
●関西事業支部の動き……………	18
●九州事業支部の動き……………	19
●名古屋造形芸術大学デザイン学科教員公募について…	20
●OZONEバスの運行変更について……………	20
●新入会員の紹介……………	21
●会員の異動……………	22

【 本部・各委員長からのメッセージ 】

5月31日の「第28回通常総会」から早くも3ヶ月有余が過ぎました。その間に、前任者からの引継ぎが行われたり、委員会の新人事が固められ、様々な会議が開催されつつあります。

そして、委員会によっては、すでに事業活動が具体化されているところもあります。

今号は、すでに方向の固った各事業支部の事業活動に対して、全会員を対象とした本部・各委員会の今後の事業活動について、各委員長の方々からのメッセージを頂きました。

会員同士、お互いの力を出し合って、有意義な事業を展開しようではありませんか。

(理事／事務局長 森谷 延周)

委員長からのメッセージ 会員の権益保護と社会的基盤の確立を

本部・総務委員会委員長 秋山 修治

まず、総務委員会の役割分担を見ますと、第1に、会員の権益・福祉・業務契約・報酬に関すること、第2に議案の起草・書式に関すること、第3に著作権・工業所有権に関すること、第4に儀典に関することとなっていて、ほかに会務に必要な財源および会計に関すること、財務計画に関することとなっていますが、これに関しては、常勤の事務局長と局長がいる現在の体制では、特別なことがない限り、委員会として独自の活動を行う必要性がないと考えています。

従って、総務委員会としては、まず、会員の権益の保護および社会的基盤をどのようにして確立していくかを最重点に考えて行きたいと思っています。

一口に会員の権益といっても多様化・個別化した現状の会員構成では、難しい問題も沢山あります。そんな中で、職能集団として、洗練された組織としてのルール作りや整備など、組織の内側の問題と、刻々と変化する私たちを取り巻く社会環境にあって、いかに問題を的確に



捉え、会員や理事会に提起し、協会としていかに対処すべきかを考えていきたいと思います。

現在特別事業となっている、著作権問題を中心とした「デザイン保護委員会」などの経過もそのような例のひとつです。通産省のデザイン行政担当窓口も、輸出を基盤としていた「貿易局」から「産業政策局」に移管され、行政サイドの対応も変わってきています。このような行政の変化なども視野に入れながら今後の協会を考える委員会でありたいと思います。

またほかには、定型化された行事（総会・儀典など）もあり、これらは各支部の委員会との連携が必要です。中でも「新春交礼会」などは、特に関東事業支部や交流委員会の協力を仰ぎ、意義のあるものにしていきたいと考えています。

協会の委員会活動の基本は、各々の会員の参加によって成り立つものです。色々な問題提起を含め、皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

委員長からのメッセージ 会員増強、会員規定などを課題に

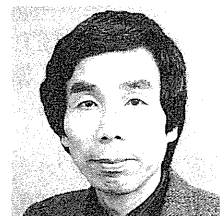
本部・組織委員会委員長 長堀 映司

- (1) 組織委員会の担当理事及び委員長は下記の通り決まりました。

組織委員会担当理事

中 川 帛 子

本 部 委 員 長	長 堀 映 司
関東事業支部委員長	入 江 満
中部事業支部委員長	内 記 悦 子
関西事業支部委員長	石 原 薫
九州事業支部委員長	北 村 新 比 古



- (2) これまでの委員会の動き

新年度を向かえて、中川新担当理事と長堀新本部委員長との打ち合わせ、野原前本部委員長との引き継ぎ会議、本部と関東事業支部との会議、本部委員との会議などを開催し、次のような提案や検討議題が出されました。

- ① 会員を増強するにはJIDはどうすればよいか。

- 入会資格や審査制度は今のままで良いか。
- 「IFI '95 名古屋」の入場者リストを活用できないか。

② 名誉会員に対する「年会費」の問題。

- アンケート結果の検討、方向性の案。

③ 賛助会員の問題。

- JIDと企業との接点をどうしたら良いか。
- 企業側のメリットの問題。

④ JIDに入会したときのメリットを考える。

- 現在のメリットを整理し、いろいろな方法を考えるて拡大させる。

⑤ 会員規定の問題。

- 会員規定はこのままで良いのか。

(3) 今後の活動方針と予定

組織委員会は事業活動の守備範囲が広く、委員会での結論が即実行できないため、大変難しい委員会だと思われていますが、よく考えるとJID全体に関わる問題が多く、委員会としては事業活動を2、3項目に整理して取り組みたいと考えています。

そして、項目毎にタイムスケジュールを決め、委員全体で行う仕事と支部で行う仕事を分け、効率的な運営を図り、委員会としての結論を理事会に報告できるようにする予定です。

また、前委員会から引き継いだ名誉会員の問題は、「会員規定」を検討する中で、年内中に委員会としての結論を出せるようにしたいと思っています。

委員長からのメッセージ 海外情報の交換と交流を中心に

本部・国際委員会委員長 李 泰久

昨年名古屋で開催された、アジアで初のIFIの国際会議は、記憶に新しいことと思います。私達デザインの世界においても増々“ボーダーレス化”が進行し、国際化の波を避けては通れないのが現状です。その中にあって、本部・国際委員会としては、海外との情報交換の接点としての機能を再認識し、会員の皆様のお役に立



てるよう微力ながら努力していきたいと考えております。

海外からの情報・対応は大きく次の3点に分けられると思います。

(1) IFI情報の紹介

Fax News Letter (年4～6回)

Press Release (不定期)

(2) IFIの各種要請に対応(随時)

(3) その他、協会・団体・組織への照会、依頼などに対応(随時)

これらの通常情報は、ほとんど英語によりますので、本部・国際委員会で分担して翻訳し、有用な情報と思われるものを、関係委員会や会員の方々に紹介したいと思います。

JIDからの情報発信としては2点あるかと思います。

(1) IFI News Letterへの投稿

(2) 海外の特定協会・団体・組織への照会、依頼

日本のインテリアデザインについては、私達が考える以上に海外での関心が高いと思われます。より積極的に情報発信をすべきであり、そのために私達、国際委員会をどんどん活用して頂きたいと思っています。

JID関連の国際イベントとしては2つあります。

「アジア太平洋スペースデザイン会議'96日本・福岡」

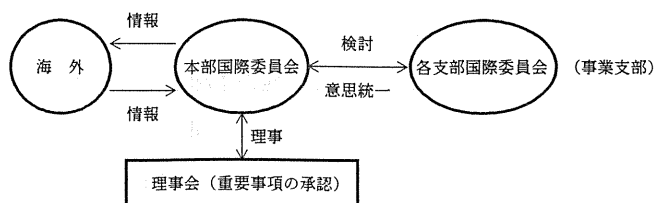
{11月7日(木)～9日(土)}

「IFIアイルランド'97」

{9月23日(火)～28日(日)} 注:16頁参照

いずれも逐次皆様にご案内が届くと思いますが、国際的枠組みの中で、アジアの存在感は増々比重を増しており、その中でアジア初のIFI会員国として、JIDもこれらのイベントに積極的に協力、参加し、交流を図るべきでしょう。とくに、「IFI '95 名古屋」の成功を一過性のものにしないためにも、関係委員会の協力を頂いて、できるだけ多くの会員の方々が参加できるよう努力したいと思っています。

懸案事項として、IFI理事の「地域代表制」への移行



●活動のためのフローチャート

の問題があります。現在 IFI 理事は、それぞれの協会を代表しており、ご存知のように JID からは、中川帛子さんが去年の名古屋総会において再選されております。これを地域ブロックに分けて、地域代表としての理事制度にしようということです。現在、IFI アジアパシフィック地域の加盟協会は 10 カ国となり、理事の定数、選出方法、経費分担方法などについて、当委員会において各国協会と調整作業に入っております。JID としても、国際社会の一員として、責任ある対応をしていかなければならないと思います。

以上が今年度の事業計画のあらましですが、情報の流れをよりスムーズにするため、本部・国際委員会と各支部の国際委員会とのチャンネルを太くし、海外関連情報の迅速な会員への広がりをも促進したいと考えております。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

委員長からのメッセージ 3 本柱と「山陰・夢みなと博」

本部・交流委員会委員長 齊藤 武行

全国の JID 会員の皆さん、
昨年は一大イベント「IFI '95
名古屋」が成功裡のうちに終了し、対外的にも大いに PR 出来たと思います。今期の本部・交流委員会は、下記の 3 本柱を基本とし、それぞれ柔軟性に富んだフレキシブルな感覚で活動して行きたいと思いをします。



(1) 関連団体との交流

行政、地方自治体など

(2) 賛助会員との交流

他委員会とのジョイント企画による「部会」設立に向けての打合せ会

(3) アジア圏との交流の模索

各会員が年会費のみを払って、他力本願な情報に埋もれることのないよう、役付きと一会員も同じ土俵に乗っていることを忘れずに、仲間として参加し、活動しませんか。JID はデザイン団体唯一の資格のない集団であるのだから……。生活給のために働く会社組織であって

はならないのだから。

そんなスタンスのもとで、体制を固め終え、これから岩倉理事も仲間に入れ（飾り物ではない）楽しく活動しようと話しています。

早速ながら、来年のイベントを今から話すと鬼が笑いかも知れませんが、すでに第 1 回の打合せを行ったイベントがあります。

これまで関東事業支部の交流委がメインで催していた「デザイン供養」を本部・交流委に移管します。例年 11 月に開催していましたが、来年は「山陰・夢みなと博」が開催される 7 月 26 日（土）に決定しました。鳥取県、島根県の各デザイナー協会、JID 全国ネット、さらにデザイン 8 団体にも呼びかけ、横の連絡も含め“遊び心”を広めて行きたいと思いをします。

日本最古の壁画で知られる鳥取県淀江町の人々との交流も含め、これまでの JID、今後の JID の在り方を全国の会員及び他団体、行政と幅広く持って、我々の社会へのボランティアと、企業などとの共存も含め考えて行こうではありませんか。全国の仲間よ集おう！交流委員会へ。

「博覧会の概要」

山陰・夢みなと博覧会は、中国・四国地方で初めて通産省のジャパンエキスポ制度の認定を受けた博覧会です。

●名 称

名 称 ジャパンエキスポ鳥取 '97
山陰・夢みなと博覧会
略 称 ジャパンエキスポ鳥取 '97
夢みなと博

英文名称 JAPAN EXPO TOTTORI '97

●テ ー マ

はばた 翔 け、交流新時代へ

●サブテーマ 環日本海交流 ————— 夢の発展
世界に広がる独自技術 ————— 夢の発信
新たな「とっとりライフ」 — 夢の発見

●開催期間 平成 9 年 7 月 12 日から 9 月 28 日（79 日間）

●会 場 鳥取県境港市竹内団地

●シンボルマーク



委員長からのメッセージ 関連企業の広報先リストの整備を

本部・広報委員会委員長 竹岡 美智子

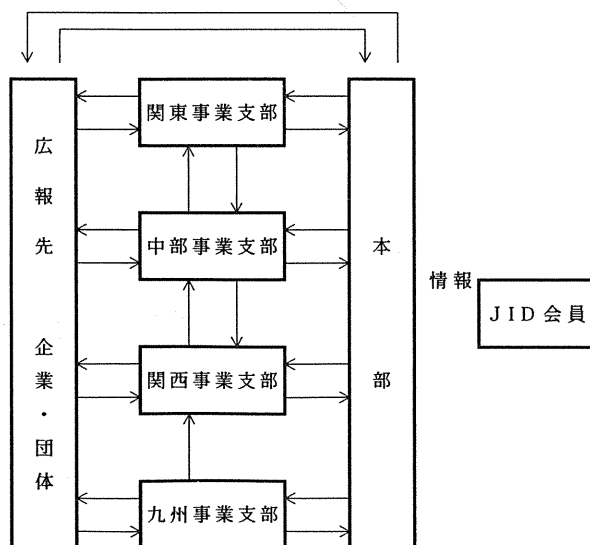
インテリアデザイナー協会の活動を、イベントを含めて、マスコミ、他団体、関連企業に知ってもらうために、広報活動を行います。



国内外の広報先リストは、現在、事務局のコンピューターに500有余インプットされています。その内容は新聞社、出版社、放送局などのマスコミ関係や、官公庁、関連団体、そしてインテリア関連の専門学部を置く各学校関係、などです。

かなり網羅されているようですが、しかし、関連企業のリストが、まだ充分ではありません。こちらの方のリストアップを会員の協力を得て、充実していきたいと思っています。

JIDの活動の連絡、報告だけではなく、相手先からも、活動、イベントなどを教えてもらい、JIDの会員として、参加できることはないか、（仕事の受注なども含めて）を打診していきたいと思っています。とくに賛助会員である企業の方に協力をお願いしていきたいと思っています。

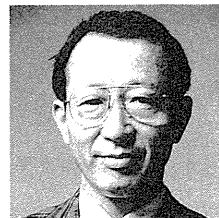


●情報を詳しく知るためのフローチャート

委員長からのメッセージ 受託事業のケーススタディーを優先に

本部・事業委員会委員長 木村 戦太郎

事業委員会に与えられた役割は、現在の厳しい社会状況のなかで、JIDの体質強化と活性化のための具体策を打ち出すことにあり、その難しさを痛感しています。



事業計画としては、前・事業委員会の「報告書」を踏まえ、①記念事業（40周年/1998他）②出版事業（会員作品集、機関誌 INTERIOR DESIGN 他）③受託事業などを予定していますが、どれも大変な事業で同時進行は不可能なため、まず受託事業を優先して活動しています。

たまたま、新委員会スタートと同時に「IFFT '96」（恒例の東京国際家具見本市）のイベント企画の依頼があり、当委員会作成の企画案で6月に受注、7月からそのための実行委員会がスタートしています。この事業は、受託事業のルールづくりの上で、丁度良いケーススタディーと捉えています。

「受託事業」は、JIDの財務体質を強化し、活性化につながる効果が期待されますが、半面、収益事業としての発注者への責任、協会員への公平性の配慮など、様々な難しさに直面することにもなりそうです。

「公益法人」としての事業理念や受注対策の組織づくり、発注側の依頼に即応するための企画委員の指名登録なども必要であり、さらに、協会員の参加意欲や得意分野の把握も必要です。また、企画委員や実行委員の選任には、協会員の活動情報が不可欠で、これは、発注側が求める情報でもあります。

事業委員会では、受託事業と平行して、「会員作品集」の発行（1998年より4年おき）が必要と考えます。正会員や賛助会員のデザイン、研究、著作や主な協会活動を収録するもので、奇数年発行の「会員名簿」の見直しと併せ、情報を継続的に把握出来、委員会での人的交流拡大にもつながると思います。

以上、事業委員会の始動状況をお知らせしました。早々に計画をご提示するつもりですが、その折は皆様の

ご批判やご提言を頂きたいと思います。ご協力のほど、
よろしくお願いいたします。

委員長からのメッセージ 会員の研究活動を支える事業に

本部・教育研究委員会委員長 村口 峯子

本部・教育研究委員会は、新年度の諸連絡や手続きを経て、やっと活動を始めました。会議中には勉強不足ゆえの質問や事務手続き、連絡の取り違いなど、諸先輩にご迷惑をおかけしております。おかげさまで皆様のご指導、ご協力を頂きながら、何とか本年の教育研究事業活動が出発いたしました。

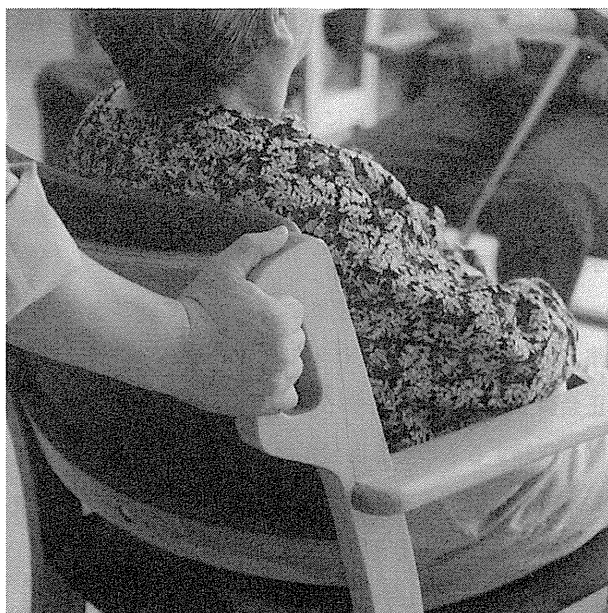
●平成8年度本部・教育研究事業計画

- (1) 会員間の研究テーマの交換交流と会員の研究活動を支援するセミナー、見学などの企画、実施
- (2) 前年度引継ぎ事業
「JID登録研究」の奨励

●経 過

7月10日 第1回全国合同会議

各支部の委員長と本部委員が集まりました。各支部の感じ方の相違があり、地域性の再認識と相互のコミュニケーションの必要性を感じました。



後脚の握りは、介護者がいすの向きを変えやすいように設計した



近作「高齢者福祉施設用家具」
JID登録研究グループメンバー／藤川 征輝会員

8月6日 第1回本部・教育研究委員会

変化著しい昨今、我々の領域もインプットの必要を強く感じ、会員にとって基礎となる情報を提供する事業を進めることにしました。

以上は、現況報告ですが、会員の皆様のご意見を少しでも反映させながら進めて行きたいと考えておりますので、当委員会宛にアイディアをお寄せください。

委員長からのメッセージ デザイン保護とは、我が子を育てるようなもの

デザイン保護委員会委員長 井上 昇

デザイナーにとってデザイン保護とは、長年の努力と経験を掛けて、生みの苦しみの後に生まれたかわいい我が子を、法的に守り、育てるようなものだと思う。



お金を儲けるための権利という冷たいものではなく、生きようとする子供の命を、実社会で役に立ち、生み出したクリエイターとそれを用いた企業や人々に幸いをもたらしものと捉えたい。

この実感は、実際のデザインの現場で活動し、苦しんでいる人には痛いほどわかると思う。なぜなら、デザイ

ンという職業が成り立つとすれば、デザイン保護はその根幹にかかわることだからである。

しかし、実際はまだ日本のデザイナー、デザイン教育者、多数のデザイン評論家も含めて、デザイン保護の認識が発展途上国並みのように思える。

この本来の意味の活用が、どれだけデザイン活動、企業活動にとって、力を持つことになるかを認識していないからだと思う。特にデザイン学生にとっては、自らの将来を左右する問題と捉える必要がある。マルチメディアなどにおいて見られるように、今後、デザイン保護を含む知的所有権が、産業の起爆材になることは、一歩先を行っているアメリカを見てわかるはず。

以上の認識のもとに、デザイン保護委員会では新たなメンバーの協力を得て、つぎのことを活動の方針に取り組みたく思っています。

1. インテリアデザイン（プロダクトデザインも含む）におけるデザイン保護とは何かの問題の抽出と、その認識について会員同士で討議をしていく。
2. 「デザイン8団体」との著作権をめぐる協同作業への協力。
3. 各種知的所有権セミナーへの出席及び講師を招いての勉強会、セミナーなどの実施。
4. 会員からのデザイン保護に関する質問への対応。
関心のある会員の皆様の参加をお待ちしています。

【各委員会及び各事業支部の役割分担】

●本部事業

選考委員会	JID 賞の審査・贈賞に関する事。 その他理事会より付託された選考・審査に関する事。
総務委員会	会員の権益・福祉・業務契約・報酬に関する事。 議案の起草・書式に関する事。 著作権・工業所有権に関する事。 儀典に関する事。 会務に必要な財源及び会計に関する事。（収支予算、決算など） 財務計画に関する事。（会費、寄付、広告、協賛金など）
組織委員会	会員資格に関する事。 会員拡充に関する事。 幹旋業務に関する事。 会員の作品管理に関する事。 会員（正・賛助・名誉）のメリットに関する事。
国際委員会	国際交流、国際情報に関する事。 IFI（国際インテリアデザイナー団体連合）に関する事。
交流委員会	官公庁・他団体との連絡、提携、共同に関する事。 会員（正・賛助・名誉）相互の親睦、交流に関する事。
広報委員会	国内広報に関する事。 各委員会活動の情報収集。協会活動の記録の整理。
事業委員会	経常事業及び特別事業の企画・調整・推進に関する事。 受託事業及び参加事業の企画・調整・推進に関する事。
教育・研究委員会	研究及び研究発表に関する事。 JID ギャラリーの常設に関する事。 「JID 登録研究」に関する事。 講習会などの実施に関する事。 インテリアデザインの教育などの調査研究に関する事。

●特別事業

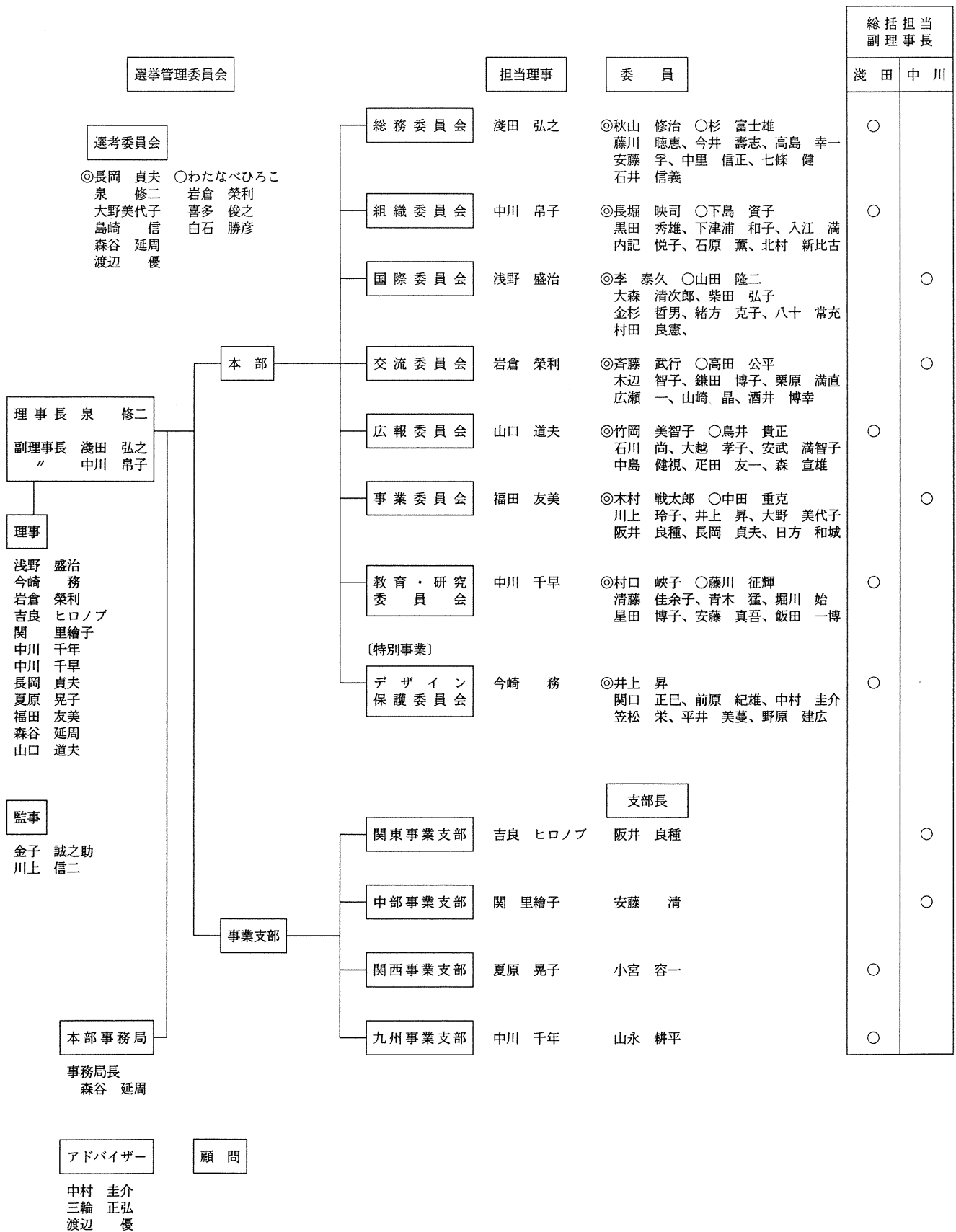
デザイン保護委員会	デザイン8団体によるデザイン保護研究会に関する事。 著作権法改正などに関する事。
-----------	---

●支部事業

各事業支部	各事業支部における会員の交流・親睦に関する事。 各事業支部における見学会、研修会、展覧会などに関する事。 本部の各委員会に対する協力に関する事。
-------	--

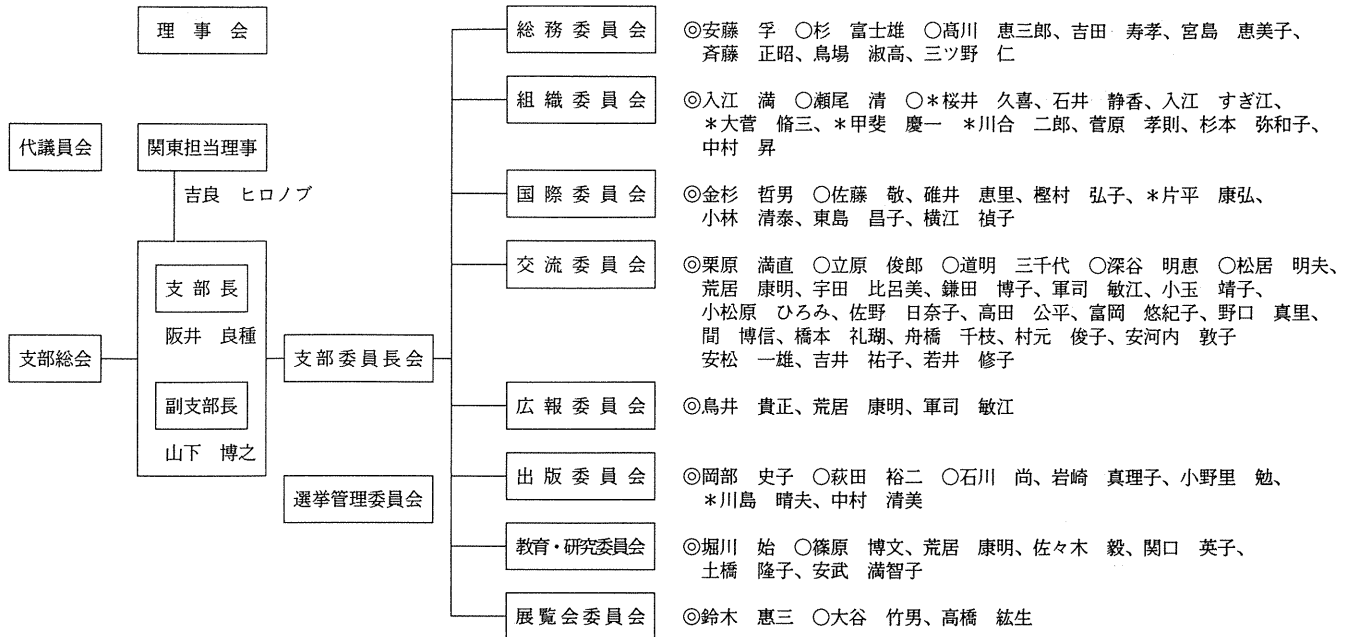
平成8～9年度 運営組織図

◎委員長 ○副委員長



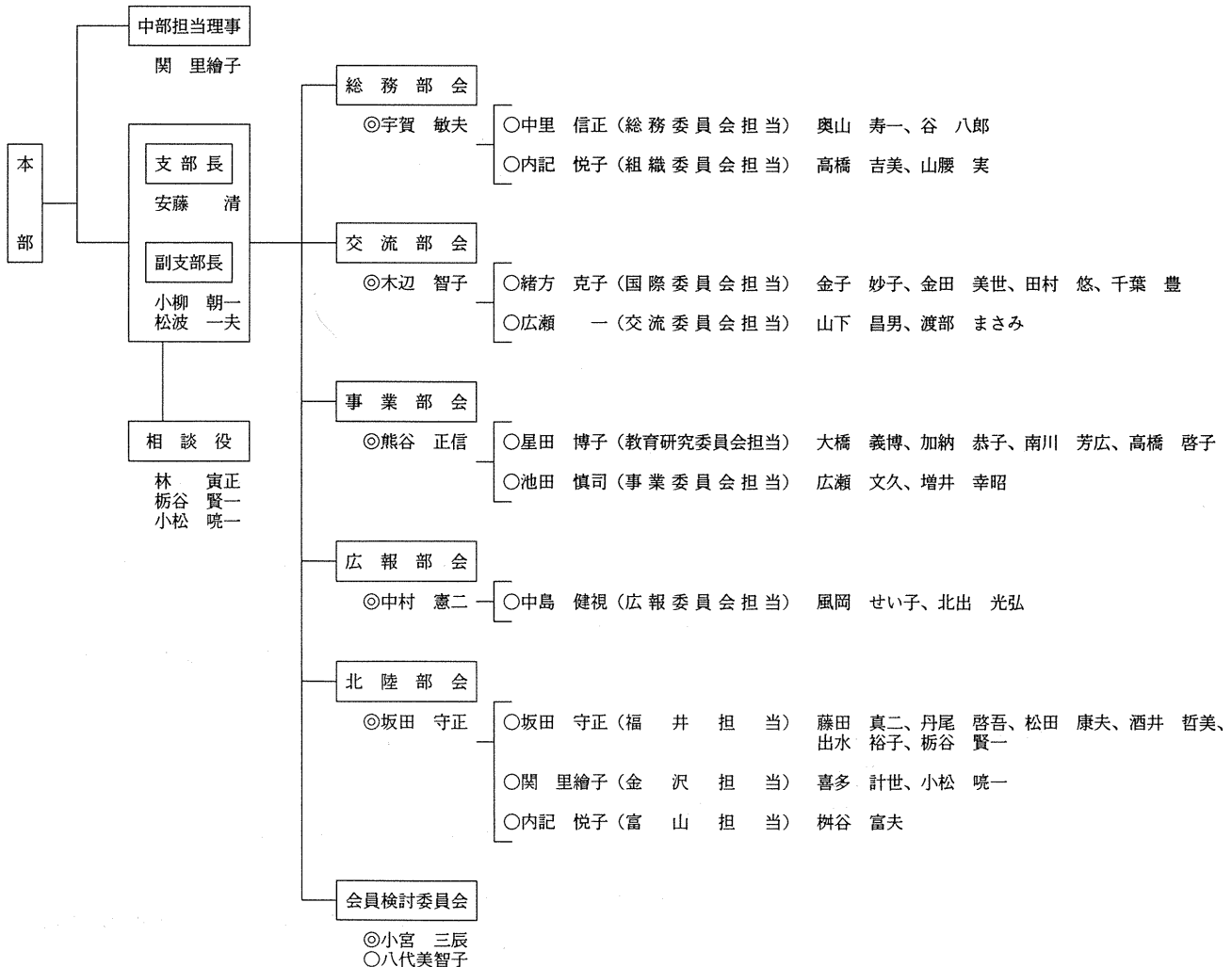
平成8～9年度 関東事業支部運営組織図

◎委員長 ○副委員長 *賛助会員

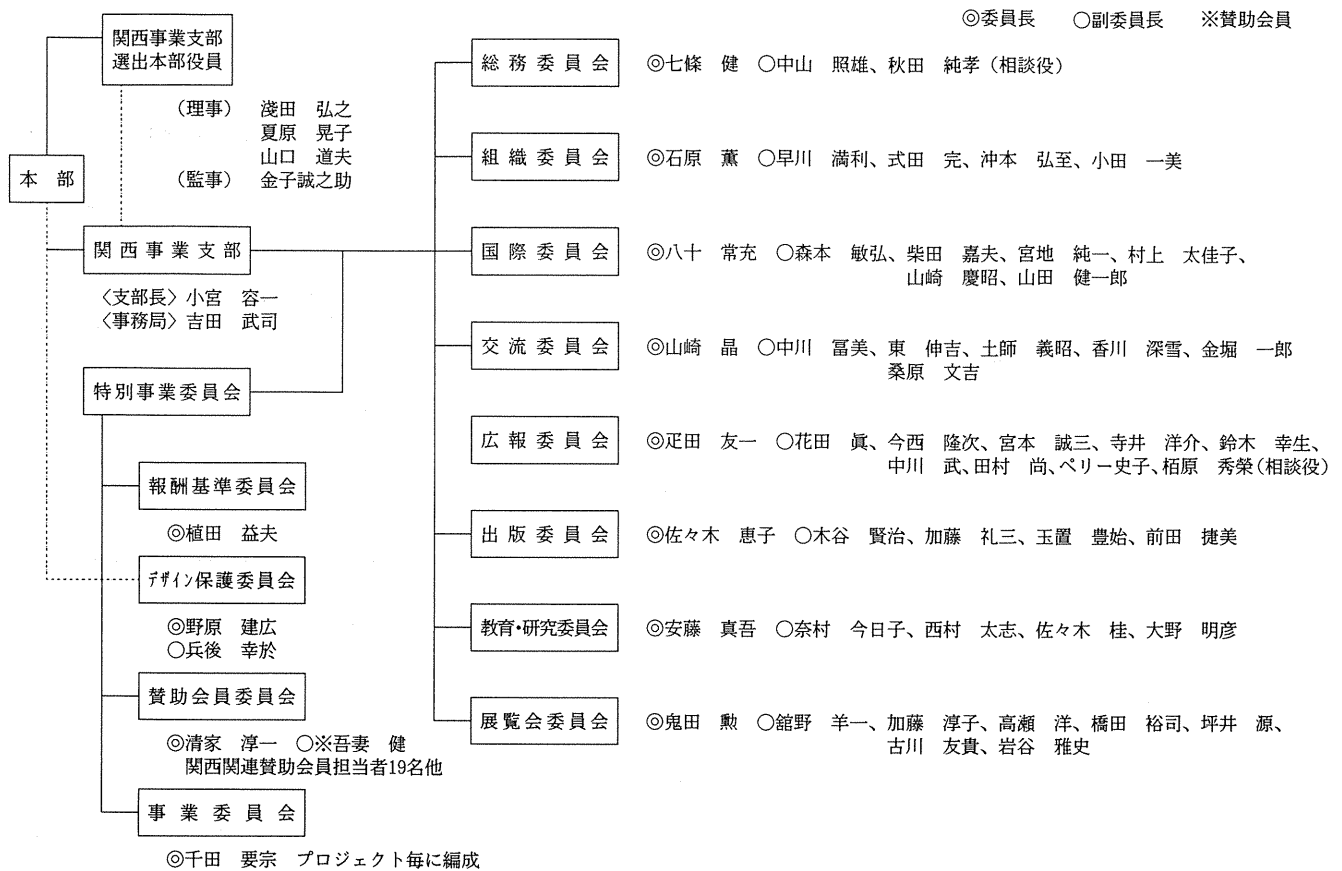


平成8～9年度 中部事業支部運営組織図

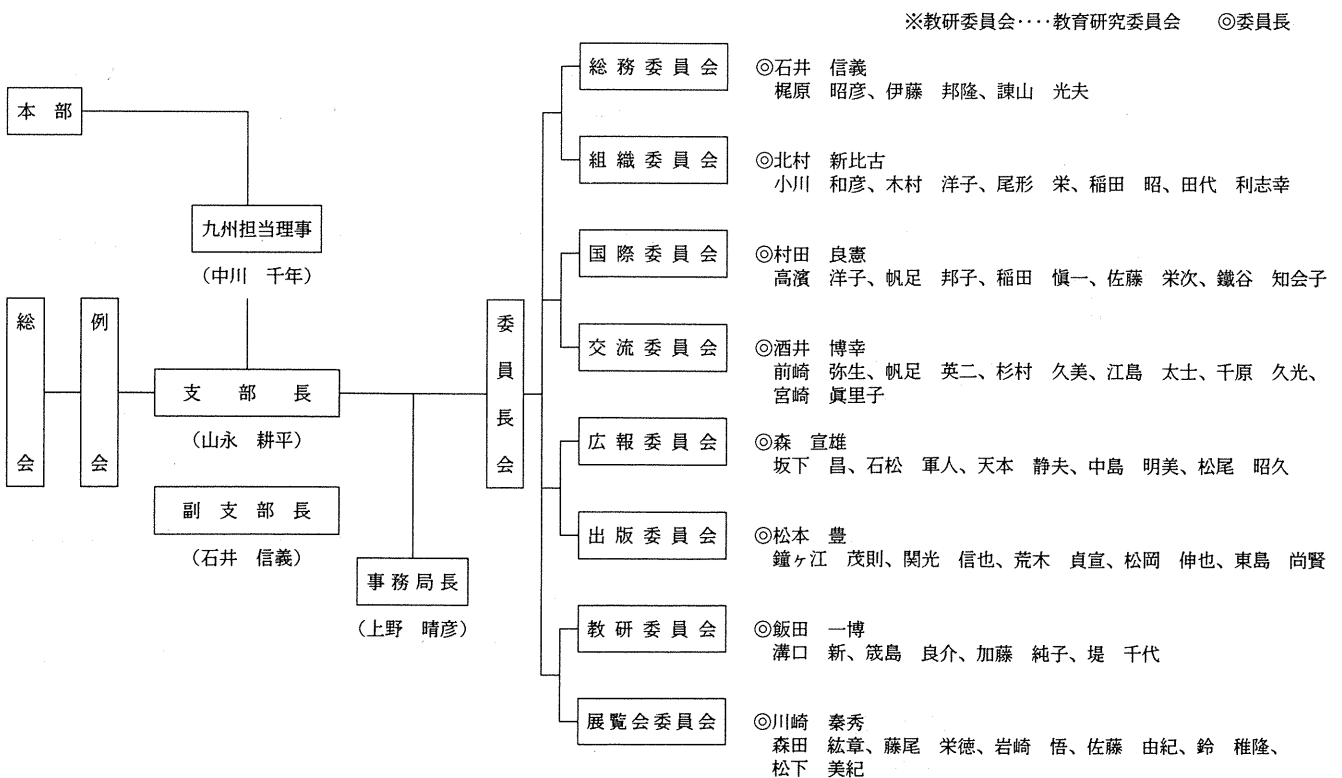
◎部会長 ○副部会長



平成8～9年度 関西事業支部運営組織図



平成8～9年度 九州事業支部運営組織図



「IFI 理事会及び北欧 5 カ国会議」出席報告

IFI 理事 中川 帛子

第 2 回 IFI 理事会が、去る 7 月 3 日から COPENHAGEN で開催された。これに先立ち、SWEDEN の GOTHBOUR 市で行われた IFI 「北欧 5 カ国代表者会議」(DENMARK, FINLAND, ICELAND, NORWAY, SWEDEN) にも出席した。

ここは昨年も出席して「IFI '95 名古屋」への参加呼掛けの機会を与えられ、北欧から多数の参加を得たことは記憶に新しい。北欧は IFI の優等生で、以前から自主的に北欧 5 カ国会議を開き、協同の支援のもとで IFI へ理事を送り続けている。いわば現在、IFI 理事会が提案している地域グループ化の先例でもある。

今後の地域グループ化に伴う連絡会議の有様と運営のノウハウを模索中の IFI 理事会にとって、北欧 5 カ国代表会議は注目の会議の 1 つである。1963 年に DENMARK で IFI が創立した経緯を考えれば、北欧における協会間の地域交流や協力の精神には、30 余年の歴史があり、現在のこの会議もそうした伝統に根ざした余裕のある会議運営といえる。

昨年、名古屋総会で会員国が一挙に 10 カ国に増加したアジア太平洋地域も同様の連絡会議をスタートさせるべく検討中である。

引き続き、COPENHAGEN に移動し、初日は DENMARK デザイナー協会の有志と IFI 創立者 C. ENDEVOLDSEN を囲む懇談会が和やかに行われ、創立当時

の IFI の理念が語られた。DENMARK のインテリアデザイナー協会は、昨年グラフィックと ID の協会と合体、「デンマークデザイナー協会」として再出発した。

●理事会の主な議題と報告

①名古屋総会以降、南米やアジア、エストニアなどの欧米以外の会員国において、IFI 協賛による活発なデザイン会議やフォーラムが開催され、何れも成功している。フィリピン、マレーシア、香港、インド、南アも 1 年以内に IFI フォーラムを計画中で理事会も積極的に支援する。

②ICSID, ICOGRADA との「3 団体合同会議」が各新理事長の交代と共に再開され、継続的連絡会の維持を確認した。

③IFI '95 DUBLIN に向け、理事会が提案しているコンピューターネットワークによるリレー方式の学生プロジェクトの実行案と実行予算の検討が行われ、国際的なスポンサーの獲得を始める。参加大学の選定は、理事会の推薦と IFI の学会会員団体から選ばれる。テーマは「自然災害及び人的災害により難民、避難民用“ソックダウン方式非常用シェルター”」の提案で、最終案は実物を DUBLIN で発表する。

④インターネットへの IFI-HOMEPAGE 開設に向け、アメリカの財団に資金の援助を求めることになった。来年 2 月の開設を予定している。

⑤会費未納国が減らないため、IFI の年間予算は依然厳しく、事業収入による資金確保の必要を確認。IFI フォーラムの開催の積極的呼掛けと、フォーラムの企画提案による協賛金の収入を図り、また、新たに関連企業参加の“IFI インテリア産業円卓会議”の企画、開催も進める。その他多岐に渡り、3 日間の討議を終えた。



「北欧 5 カ国代表者会議」の 1 コマ、左から 3 人目は中川帛子理事

【 平成8年度・第1回理事会報告 】

①会議名：平成8年度・第1回理事会

②日 時：平成8年5月31日（金）13：30～15：15

③場 所：（社）日本インテリアデザイナー協会

本部事務局 会議室

東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー 8F

④出席者：理事総数15名中（本人出席13名）

（理事長）泉 修二

（副理事長）中川 帛子

（理 事）浅野盛治、今崎 務、岩倉榮利

吉良ヒロノブ、関 里繪子、中川千年

中川千早、長岡貞夫、夏原晃子

福田友美、森谷延周（事務局長）

（委任状）浅田弘之、山口道夫

（監 事）金子誠之助、川上信二

⑤議 題

I. 議 案

第1号議案 後援・協賛名義承認の件

第2号議案 会員入退会承認の件

第3号議案 議事録署名人選任の件

II. 報告事項

(1) 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

(2) 第28回通常総会ほか進行予定

(3) 平成7年度会計監査報告

(4) 平成7年度権利停止予定者

(5) 中小企業近代化促進法の活用について

(6) 中部事業支部業務委託料更新について

(7) 平成8年度春の叙勲受章者

(8) その他

⑥議 事

森谷事務局長より「理事総数15名中、本人出席13名、委任状2名で本理事会は成立した」旨報告。引続き、泉理事長が議長となり議事に入った。

I. 議 案

第1号議案 後援・協賛名義承認の件

議長は、事務局長に説明を求め、事務局長は、下記9件について説明した。議長は承認を諮り、異議なく承認された。

◎「セミナー『人口環境の健康影響とその評価法』」後援・継
1996年6月20日（木）～21日（金）

主催 日本生理人類学会

◎「ディスプレイデザイン研究賞'96」 協賛・継

1996年4月応募要項配布 12月 表彰式

主催 （社）日本ディスプレイデザイン協会

◎「インターナショナル・ライティング・フェア」 協賛・継
（第3回国際照明総合展）

1997年3月4日（火）～7日（金）

主催 （社）日本照明器具工業会・日本経済新聞社

◎「第42回 協賛・継

『東京インターナショナル・ギフト・ショー秋'96』

1996年9月4日（水）～6日（金）

主催 （株）ビジネスガイド社

◎「第16回 協賛・継

『大阪インターナショナル・ギフト・ショー秋'96』

1996年9月18日（水）～19日（木）

主催 （株）ビジネスガイド社

◎「ニューヨーク近代美術館 後援・新

Mutant Materials in Contemporary Design 展

～現代デザインに見る素材の変容～

1996年7月5日（木）～8月9日（金）

主催 リビングデザインセンター OZONE

◎「北欧・デザイン研修会」 協賛・継

1996年9月26日（木）～10月6日（日）

主催 財団法人 工芸財団

◎「'96クラフトマンズヨコハマ展 後援・継

『PRESENCE』

1996年10月16日（水）～10月20日（日）

主催 クラフトマンズヨコハマ

◎「'96オール飛騨・高山 後援・継

木のふれあいフェスティバル」

1996年9月4日（水）～8日（日）

主催 「'96オール飛騨・高山 木のふれあいフェス
ティバル」実行委員会

第2号議案 会員入退会承認の件

議長は、事務局長に説明を求め、事務局長は下記18件について説明した。議長は、承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

入会 正会員（1件）

氏 名	支部	保 証 推 薦 人
小田原 健	関東	森谷 延周・福田 友美

退会 正会員（13件）

氏 名	支部
神 本 妙 子	関東
鈴 木 信 夫	関東
小 関 順 司	関東
山 下 禮 子	関東
石 井 三 雄	関東
東 山 孝 司	関東
多 田 照 彰	関西
石 本 陽 子	関東
村 上 章 彦	中部
川 池 昭 子	関東
松 浦 陽 子	関東
伊 藤 博 昭	関東
上 山 良 子	関東

退会 名誉会員（1件）

氏 名	支部
横 田 真 利	名誉

退会 賛助会員（6件）

社 名	支部
住商インテリア株式会社	関東
中央設備エンジニアリング株式会社	中部
三國商工株式会社	関東

第3号議案 議事録署名人選任の件（2名）

議長は、浅野盛治、今崎 務両理事の承認を諮り、異議なく承認された。

Ⅱ 報告事項

議長は、各事業支部及び本部各委員会については各担当理事、本部事務局については事務局長に活動に関する報告を求め、それぞれが資料を基に報告した。

(1) 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況

●関東事業支部（吉良）

去る3月29日代議員会を開催、阪井良種支部長を再選したこと、及び5月17日委員長会議の意向を受けて、来る6月19日、相互調整を主とし

た「本部・関東委員長合同会議」を予定している旨報告。

●中部事業支部（関）

3月～5月に全体会議を3回開催、会友制度の再検討、事務委託費、総会準備などを討議したこと、及び5月25日の支部総会（出席22名）にて安藤清支部長を再選したこと、並びに6月8日のセミナー計画について報告。

●関西事業支部（夏原）

去る4月15日支部委員総会を開催、小宮容一支部長を選出したこと、及び5月24日開催の支部総会（出席27名）などのほか、「ECHO」の編集を広報委に担当替えしたことを報告。

●九州事業支部（中川千年）

支部事務局を上野晴彦会員のオフィスに移転したこと、及び「九州デザインコンペティション'96」「デザインリーグ'96」などの計画・準備のほか、5月11日の支部総会（出席20名）にて、山永耕平支部長を選出したことなどを中心に報告。

●組織委員会（中川・帛）

浅田前担当理事委任出席のため、事務局長が代理報告。

去る4月1日付で実施した「名誉会員制度に関するアンケート結果」を、報告書により説明、制度改革の必要性は認められたと受け止め、さらに名誉会員との意見交換会の実施を含め、次期委員会に引き継ぐことにした旨報告。

●報酬基準委員会

委員会業務完了のため、事務局長が代理報告。

「インテリアデザインの業務および報酬基準のガイドライン」の一部訂正について、「正誤表」を作成し、4月末日に配布完了と報告。

(2) 第28回通常総会ほか進行予定

本日の理事会後に開催される第28回通常総会、関東事業支部第3回支部総会（OZONE セミナールーム）、懇親パーティー（CLUB SQUARE）など一連の予定を報告した。なお、関連団体からの出席は10団体の予定。

(3) 平成7年度会計監査報告

榎田、金子両監事を代表して金子監事より、4月22日実施の監査結果について、帳簿並びに関係書類の正

確性を確認したこと、収支決算書、財産目録と会計諸帳簿の記載とが符号し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示している旨報告。

(4) 平成7年度権利停止予定者

作成した資料に基づき、平成7年度年会費未納による権利停止予定者、35名、5社について報告した。

(5) 中小企業近代化促進法の活用について

去る4月19日、通産省デザイン政策室よりデザイン8団体に対して、同法の活用について説明があった。各種助成措置の可能性について、今後共8団体で検討を継続することになっている旨報告。

(6) 中部事業支部業務委託料更新について

さる3月8日付文書にて、(財)生活用品振興センターより、業務委託料現行年額42万円を平成8年4月1日より54万円としたい旨要望があったが、4月11日森谷事務局長が同センターを訪問し、しばらく現行通りとの了承を得てきた旨報告。

(7) 平成8年度春の叙勲受章者

樋口 治名誉理事に対して、去る4月29日、「勲5等瑞宝章」が授与されたことを報告。なお、伝達式は5月9日通産省にて、拝謁式は5月10日皇居にてそれぞれ行われた。

(8) その他

- ・理事会開催希望曜日
- ・理事会の円滑化のために
- ・年間行事予定表
- ・JID NEWS 5・6月号 6月28日(金)発行(予定)
- ・次回理事会開催予定('96第2回)
平成8年7月23日(火)

議長は報告事項について了承を求め、理事会はこれを了承した。

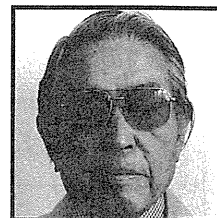
奥宮 守名誉会員を偲ぶ

名誉会員 樋口 治

奥宮 守君は今年('96年)

6月14日に永眠した。

彼と私との付き合いは、昭和8年京都高等工芸学校(現、京都工芸繊維大学)の入学式より



始まり、今日まで63年間の親友関係が続けられた。彼は私より3、4才年長者であり、(私がクラス中で最年少者であった。)口が達者でよく人を笑わせ、人心を収攬することに長じていた。学校も人をよく見ており、彼は早速クラス委員に任命され、卒業するまで委員を勤めたが、その間クラスをよく纏めたのを覚えている。

学生時代の思い出としては、昭和10年の暮れに2人が宝塚大劇場の舞台装置の実習に行ったのは良いが、その帰りに宝塚の温泉街でしこたま飲んで、帰途の阪急電車の中で2人共寝りこけ、午前1時頃池田駅の車庫の中で巡査にやり起こされて、駅長室でストーブにあたりながら徹夜したことを覚えている。

学校の推薦で、私は高島屋へ、彼は内外木材工業に入社した。彼は設計より次第に営業畑に進んだが、彼の内外木材の在職中の最高の業績は、彼が同社の専務取締役東京支店長のとき、今の皇居の正殿の内装工事の責任を負ったことであると思う。

皇居は、当時新宮殿とも言われたが、その中でも代表的な御殿が3つあり、その内装工事を下命されたものが、当時日本を代表する業者であると考えてよいが、彼はその中でも最も重要な正殿の工事を完遂したのである。

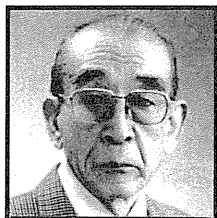
内外木材を止めてから、彼は各社の顧問や囑託をしていたが、そのとき私と石川四郎(故人)氏が彼に頼まれて、JID入会の斡旋をしたのである。

今年の5月、私が叙勲して皇居に参上したとき、私は皇居の御殿を拝見して、彼のことを懐しく思っていた。

坂本康四名誉会員を偲ぶ

九州事業支部会員 茂島 良介

先生のご逝去の知らせを受けたのは、JID 会員の溝口 新先生からの電話連絡でした。一瞬啞然としました。まだ元気にしておられるとの情報を得ていたのに、突然の訃報でした。



先生は東京高等工芸学校を卒業後、暫く東京におられ、昭和 26 年博多工業高校に奉職されインテリア科長として勤務されていました。

私と先生との出会いは、昭和 32 年、福岡の玉屋百貨店で開催された「福岡室内デザイナーグループ作品展」での出品メンバーとしてでした。

その後、この作品展は昭和 38 年の第 7 回をもって、グループのリーダーであった通産省産業工芸試験所九州出張所、白井一朗技官の鳥取工業試験場長としての栄転を機会に解散をよぎなくされました。

その数年後、JID 九州事業支部が発足し、その初代支部長に坂本先生が推薦され、会員作品展の開催、新会員の増強、中央からは講師に剣持 勇先生を招へいし、JID 理事会を大川家具産地で開催されるなど、各種のイベント企画に、リーダーとしての才能を発揮された方でした。

また、博多工業高校在任中、県立大川木工指導所の所長として迎えられ、大川家具産地のデザイン振興に貢献されました。定年後は九州芸工大、佐賀大学の非常勤講師として、特にデザイン教育に情熱を注がれた先生でした。

先生は温厚な人柄で、とてもダンディな英国紳士で、いつもボルサリーノの帽子をかぶっておられ、帽子の似合う人でした。

また、知られざる一面として、東京在住の頃、まだテレビが一般に普及する以前のラジオドラマで、声優として活躍され、京マチ子、池内淳子さんと一緒に撮られたスナップ写真を見せてもらったことがあります、そのせいかハッキリしたハリのある美声の持ち主でした。

ご冥福を心からお祈りいたします。（享年 76 才）想い出すままに。

「IFI news」抜粋 '96 年 3 月号

展望

●ICOGRADA, ICSID, IFI より親密な関係へ

ICOGRADA, ICSID, IFI の 3 つの国際デザイン協会は、この 5 月に 3 年振りで正式の会合を開くにいった。ブリュッセルで開かれたこの会合では、3 協会の関係と将来のより効果的な協力関係について、主に議論された。

代表出席者は以下の三氏である。

ICOGRADA: Guy - A Schockaert 次期会長

Mary Mullin Director/Sec. General

ICSID: Uwe Bahnsen 会長

Augusto Morolli Board Member

IFI: Denis Handy 会長

Marianne Frandsen 次期会長

会合では 1994 年世界協力合意が承認され、これからの具体的な成果を期待する提案がされた。実際の共同体勢への現実的対応は、次の各団体の委員会で話し合われることになった。

常設の共同委員会の設置は、コミュニケーションの上においても、協力関係の上でも、この共同体勢の利益となると考えられる。10 月にシドニーで開かれる予備会議では、共同評議会の安定性と重要性を唱える意味でもよい機会となるであろう。

IFI の主催で 8 月に次の会合を開くことが IFI 側から提案されている。

メンバーズ・ニュース

●IDA 香港

香港 IDA (international Design Association Hong Kong) は、1997 年 4 月に予定されている「オフィス・オブ・ザ・フューチャー」フォーラムの最新情報を公開した。このフォーラムでは、世界各国から 300 から 400 の参加者が予想され、『インテリア '97 国際フェア』も同時開催される。最終日の 4 月 8 日には、イベントとして〈インテリア・デザイン賞〉授与式が行われる。詳しい情報は、

香港 IDA: FAX 852-2866-3261 まで。

●NCIQD: the National Council for Interior
Design Qualification

アメリカ合衆国インテリア・デザイン資格評議会は、第5回インテリア・デザイン共同協議会が、'96年11月1日から3日までテネシー州のNashvilleで開催されることを発表した。毎年開かれるこの協議会には、アメリカとカナダの主なデザイン協会の代表者達が集い、デザイン業界の現状を話し合うことになっている。今回のテーマは『アメリカとカナダにおける、デザイナーの権利侵害』。詳しい情報は、

Lisa Whited Fax: 1-914-948-9198 又は、
e-mail: ncdq@aol.com まで。

●IFI 関連団体: ECIA

ヨーロッパ初の、インテリア建築士協会 (ECIA, European Council of Interior Architects) が発足した。ECIA 組織委員会は、IFI メンバー協会関係用にプロモーション・ビデオを公開している。詳しい情報は、スペイン IFI Member, CNDI まで。

Fax: 34-1-578-2886

なお、協会会議はスペイン、バルセロナで9月23日～25日に開催される。

理事会

●Marianne Frandsen IFI 次期会長

Marianne Frandsen (IFI 次期会長) は、IFI 初めての学生主体のプロジェクトを計画中である。UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) は、地球上の100人に1人は戦争あるいは、天災による難民であるとの推定を出している。IFI のこのプロジェクトは [SHELTER] と呼ばれ、難民の人口増加に対処するための、組み立て式の非難所に焦点が当てられている。計画は選出された学校をリレー式に巡り、最終的に '97年9月に IFI アイランドでの学生のためのセッションで締めくくられる。このプロジェクトでは電子通信が重要な要素となる。現在スポンサーを募集中。

●著作権保護近況報告

世界的財産団体は、不公平競争を防ぐためのモデル規約を公表した。この文書は、スイス、日本、オランダ、アメリカの著作権の専門家により編集されており、他企業尊重、名誉毀損、公共に誤解を招くこと、不公平競争などについて記されている。詳細は IFI 事務局へ。

(抄訳/李 泰久)

「IFI アイランド '97 について」

●IFI 定例総会 9月23日・24日 ダブリン市にて

●併催: 国際会議 9月25日～28日 キラーニー市にて

IFI Ireland 1997 will bring expertise from the visual arts, medical research, commerce and psychology, and the field of universal design to confront culture, technology and design in a challenging and participatory Congress.

In evolutionary terms the artificial environment is a sudden new threat to survival. What do the senses make of it and what is a place anymore.

IFI '97
Ireland

The Institute of Designers in Ireland (formerly SDI) is looking forward to seeing you at the General Assembly Dublin 23-24 September 1997 and/or the International Congress Killarney 25-28 September 1997
Information fax + 353 1 679 3458

家具の試作を引受けます

関東事業支部会員 高橋 紘生

- 一家具製造会社の企画担当を離れ、15年前に脱サラをして工場を始めました。
- 自分でデザインして、自分で作る・売するという、わがままな製造販売を続けて来ましたが、現在14名程の男女で操業しております。そして、今回、工場の近くに12坪程のショールームも（家具相談室的）開設しました。
- これを機に、JID会員の皆様で家具の試作などに困っておられる方、あるいは、この構想を立体に見たいと言う方々に、当社をご利用頂けないものかと考え「投稿」しました。
- 当社は、なるべくムク材を中心にして、箱物・脚物など、最後の塗装仕上げに至るまで一貫して製造しております。そして、自信を持って作り上げるプロがいるつもりです。
- 是非、試作や展示会用の作品などの製作をご希望の方はご相談ください。

『あなたのデザインで 家具を!!』がキャッチフレーズです。



高橋紘生会員が主宰する「木工房シン」の製作品の一例

関東事業支部の動き

関東事業支部支部長 阪井 良種

●地域会員交流企画について

関東事業支部交流委員会では、「四方山話」に続いて、今年度の新企画のひとつとして、日頃情報交換をはじめ、会員相互の交流の機会の少ない地域会員との交流を深めるため「地域会員交流企画」別名おしかけ企画を、計画しています。

その主旨は、昨年桑名に参加した人はご存知の通り、桑名まつりや市内の見学などを通じて、桑名の人々と楽しいひとときを過ごしましたが、地域でのデザイン活動の実際を体験したり、又地域伝統工芸～地場産業などの理解促進によって、JID組織の活動の活性化を計り、同時に新規会員の獲得を目指します。

そして、もう1つは交流事業を地域会員との共催にて行うことにより、関東事業支部内及び各支部間との情報流通の活性化を目指し、交流の場を大きく見開いて、より多くの人とのコミュニケーションが計れるようにしたいと思います。

まず手初めの第1回目は、富山～金沢あたりを予定しております。この企画をより楽しく有意義にするために、会員皆様の情報をお待ちいたしております。又この企画は、四方山話とも連動して、地域名誉会員や伝統職人四

方山話セミナーといったものも計画しています。乞うご期待！

（関東・交流委員会委員長

栗原 満直）

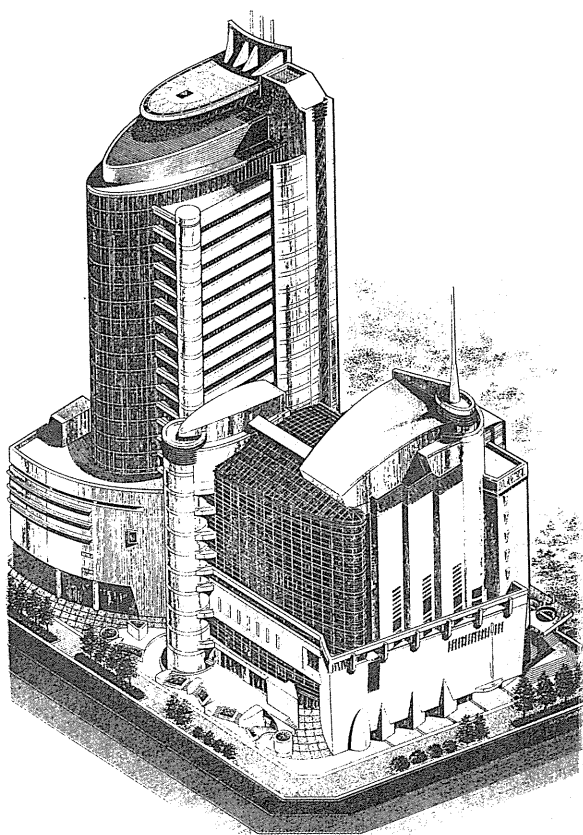
中部事業支部の動き

中部事業支部支部長 安藤 清

中部事業支部会員による支部活性化アンケートの結果を受けて、「インターネットの勉強会」を行いました。

まず6月19日、“酒でも酌みかわしながらの入門講座”から始まり、6月26日“パソコン通信とインターネット”体験Ⅰ、7月18日には“会員とパソコン通信を！”体験Ⅱと実技編、さらに9月18日には、“インターネットとパソコン通信導入・活用相談会”というようにJID中部からの発信に向け、人気講座として着々と進めています。

一方9月28日には、教育部会（担当星田博子）と交流部会（担当木辺智子）の合同企画として、東洋プライウッドの「新空調住宅ルーミットホーム」の見学会、と「合板その成り立ちとノンホルマリン合板の生産まで」の講演会を併せて行い、その後、初秋の「交流会」を行う予定です。



今秋にオープンする「ナディア・パーク」（名古屋）の外観
その内、「国際デザインセンター」は、手前のB1F～7Fに開設される

ところで今秋11月15日、いよいよ「国際デザインセンター」がオープンしますが、JIDもCCDO（中部デザイン団体協議会）のメンバー協会として、今後参画の機会が増える予定です。

イベント計画としてまだ確定していませんが、例えばGマーク制度40周年記念展・ニュートラディション・NEXT WAVE 海外の若い方・常設ミュージアム・デザインセンターの企画展5、6本など盛り沢山のイベントが計画されています。乞うご期待！

関西事業支部の動き

関西事業支部支部長 小宮 容一

8月2日に第2回支部運営会議を開催した。この会議に向けて、あるいは受けて各委員会ごとの会議が持たれた。そして、年間スケジュールとその内容が明確となった。また、「ECHO」8号が8月9日に発刊された。以下は、交流委員会と賛助会員委員会の報告である。

●『四国生活文化巡りの旅』

8月3日、大阪と九州から、岡山駅は桃太郎さんの銅像の前で全員集合。瀬戸大橋を渡って丸亀で四国勢の出迎えを受けました。高知からはコーディネーターの皆さんも。

最初は猪熊弦一郎現代美術館。丸亀駅前の広場と連動して、市民への開かれた美術館というコンセプトが明快に感じられます。高松、ジョージ・ナカシマゆかりの桜製作所を見学。四国村に四国の民家を訪ね、初日の見学は終わり、待望の懇親会。瀬戸の夕暮れを背景に、香川コーディネーター協会の方々の友情参加を頂いて総勢25名余、おおいに盛り上がりました。

2日目のバスには、新しい高松のお友達も加わりました。藍住町・藍の館では藍染の体験学習。徳島県立現代美術館に到着。名誉会員の新居 猛さんの出迎えを受け“ホフマンとウィーン工房”展を見学。しばし19世紀末～20世紀のウィーンに想いを馳せたのでした。

少し交流の輪が広がったような気がいたします。性別・年齢・協会・地域を問わず、いい交流とは、セクト意識を捨てることから始まるのでしょうか。そんな感想を拾いながら瀬戸の夕日を眺めていました。

（関西・交流委員会委員長 山崎 晶）

●賛助会員委員会第1回会議

この度、関西事業支部におきまして、賛助会員の皆様方に対する協会との情報受・発信を、より密な関係を図りながら推し進めていく必要性から、独立した「賛助会員委員会」が発足いたしました。

これまで、支部活動への参加の機会やメリットづくりにおいて、賛助会員の皆様のご希望に沿うことが必ずしも充分に出来ていなかったのではとの反省から、今後は協会に対する魅力的な関わり方、賛助会員として何が出来るのか、また、他委員会と合同で行える事業活動はどのようなことがあるかなど、積極的な議論に発展させていければと考えております。

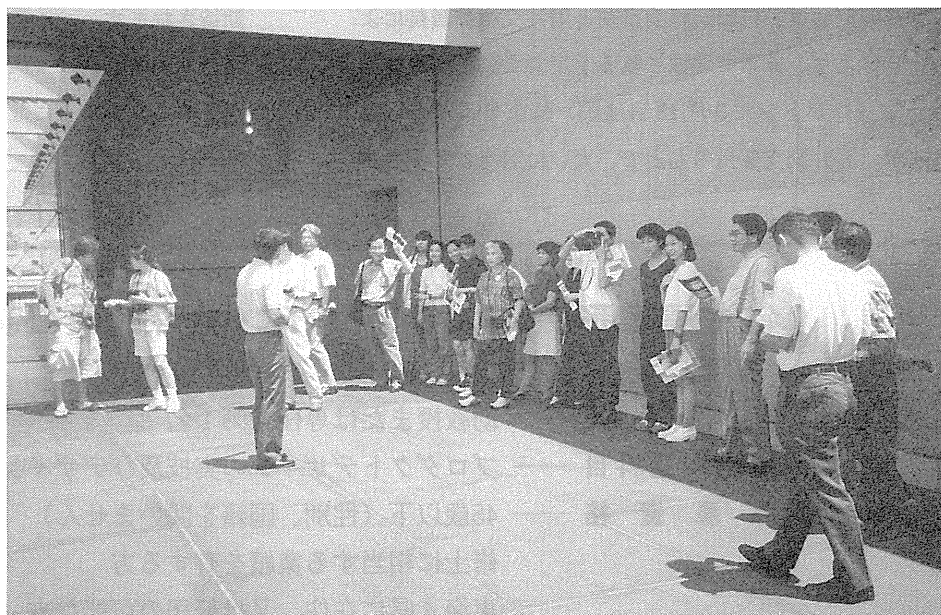
この8月7日には、委員会として第1回目の会合を持ち、今後の活動について意見交換が行われました。会員の皆様、が協会に寄せる期待の大きさ、また、相互に取り組むことで生まれる新たな可能性を実感した次第です。今後共皆様方のご理解ご協力をお願い申し上げます。

（ 関西・賛助会員委員会委員長 清家 淳一 ）
副委員長 吾妻 健

九州事業支部の動き

九州事業支部支部長 山永 耕平

去る7月27日（土）、久留米リサーチパークにおいて第2回九州事業支部例会を開きました。議題は「FUKUOKA デザインリーグ'96」への取組みと、今後の支



丸亀市・猪熊弦一郎現代美術館にて説明を聞く参加者



徳島県立近代美術館正面入口前にて全員集合

部活動のあり方について話合いました。

「FUKUOKA デザインリーグ'96」については、川崎展覧会委員長より、7月9日の専門部会における決定事項および検討事項などの報告があり、先に福岡在住の実行委員による会場（アクロス）の下見などと合わせて、早い時期に出品者と面積を明確にし、出品内容を豊かにして行くことになりました。

つぎに支部活動について各委員長の報告がありましたが、今年度は特に、体制と同時に新事務局に変わった年でもあり、具体的な取り組みと合わせながら、毎月の例会を運営し、事務局と各委員長間の連絡を密にすることに力がそそがれると思われます。

8月の例会は、村田国際委員長と酒井交流委員長による企画により、熊本で開催される予定です。私が短期海外研修（ロンドン／9月10日帰国）により不在となりますが、石井副支部長のもとで、大いに気合った例会が

期待されます。

11月の福岡における各イベントが、全員参加の支部活動のエネルギーになることを願っています。

名古屋造形芸術大学デザイン学科教員公募について

1. 募集人員 — 助教授または専任講師1名
2. 担当授業科目 — プロダクトデザインの実技及びデザインに関する講義、演習
3. 応募資格 — 45歳以下（性別、国籍を問いません）
修士に相当する業績を有する方
東海4県に在住、又は転居の可能な方
4. 着任時期 — 平成9年4月
5. 提出書類 — 履歴書、研究業績書、主要作品資料、主要論文資料ほか
6. 応募締切 — 平成8年10月14日（月）必着

●ご希望の方はJID本部・事務局・森谷までご連絡ください。

OZONE バスの運行変更について

「リビングデザインセンター OZONE」がオープンして2年目、来館者はすでに200万人を越えていますが、この7月1日より、来館者への便宜・サービス向上のため、1台増車、3台による運行となりました。

運行間隔は開館日10分、また、休館日は運行休止でしたが、15分間隔で運行され、一段と便利になりました。
詳しくは下記の通りです。 (本部事務局)

	OZONE 開 館 日 (日～火・木曜、金・土曜、祝祭水曜、12月30日)	OZONE 休 館 日 (パークタワー休館日・一般水曜、1月4日・5日)
運 行 台 数	3台 (金・土曜日の18:50以降は2台)	2台
始 発 ・ 終 車 発 時 刻 新 宿 パ ー ク タ ワ ー	(日～火・木) 10:10～18:50 (金 ・ 土) 10:10～19:50	(水・年末年始) 10:15～16:45
始 発 ・ 終 車 発 時 刻 エ ル タ ワ ー (新宿駅西口・小田急HALC脇)	(日～火・木) 10:10～18:50 (金 ・ 土) 10:10～19:50	(水・年末年始) 10:15～16:45
運 行 間 隔	10分 (金・土曜日の18:50以降は15分)	15分

〔 新 入 会 員 の 紹 介 〕

●新しく会員になられた方々です。新しい仲間としてよろしくお願いいたします。

●正会員

会員名及び番号		住 所 及 び 電 話
やま した 山 下 よその 会員番号 1124 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	山下建築デザイン事務所 福岡県久留米市中央町5-12 〒830 TEL・FAX 0942-32-3399 福岡県久留米市中央町5-12 〒830 TEL・FAX 0942-32-3399 鐘ヶ江 茂則・山永 耕平
うつ崎 みつ よ 宇津崎 光 代 会員番号 1125 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株)ミセスリビング 京都府長岡京市開田4-5-10 〒617 TEL 075-955-1485 FAX 075-954-2625 京都府長岡京市天神2-3-7 〒617 TEL 075-954-5422 FAX 075-955-2975 三輪 正弘・喜多 俊之
お の かず のり 小 野 和 徳 会員番号 1126 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株)広瀬装研 サンコーインテリア 大分県別府市中須賀東町7組の2 〒874 TEL 0977-66-4161 FAX 0977-66-4187 大分県別府市南立石鶴見園町3組の2 〒874 TEL 0977-21-5780 中川 千年・伊藤 邦隆
し ま も と よ し じ 嶋 本 喜 司 会員番号 1127 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株)アスプルンド 東京都港区三田4-1-9 三田ヒルサイドビル 9F 〒108 TEL 03-3769-0660 FAX 03-3769-0668 千葉県市川市末広1-8-10 〒272-01 TEL 0473-96-4859 小田原 健・森谷 延周

● 賛助会員

会員名及び番号		住 所 ・ 電 話 及 び 担 当 者
柏 木工株式会社 会員番号 3157	住 所 担 当 者 紹 介 者	岐阜県高山市上岡本町 1 丁目 260 番地 〒506 TEL 0577 - 32 - 3177 FAX 0577 - 34 - 7417 企画部長 板津 哲治 佐戸川 清・岩倉 榮利
積水化学工業株式会社 ルーミング事業部 セキスイルーミングカレッジ 会員番号 3158	住 所 担 当 者 紹 介 者	大阪府大阪市北区芝田 1 - 5 - 6 梅田旭ビル 2F 〒530 TEL 06 - 375 - 9581 FAX 06 - 375 - 3343 事務局長 田中 恒夫 小宮 容一

[会 員 の 異 動]

● ご面倒でも 1995～1996 年版「会員名簿」の該当ページを開けて、ご訂正下さい。

● 正会員

会 員 名	異 動 事 項	新
大 野 美代子 (関東 P62)	事務所名称	株式会社エムアンドエムデザイン事務所
大 森 清次郎 (関東 P63)	勤務先 自宅	(株)日建スペースデザイン 東京都文京区後楽 2 - 1 - 3 〒112 TEL 03 - 5684 - 1645 FAX 03 - 5684 - 1646 東京都世田谷区松原 6 - 20 - 22 〒156 TEL 03 - 5376 - 7356 FAX 03 - 5376 - 7357
小野里 勉 (関東 P66)	事務所 FAX	03 - 5361 - 7740
近 藤 康 夫 (関東 P79)	事務所移転	東京都港区西麻布 3 - 24 - 24 〒106 TEL 03 - 3408 - 0981 FAX 03 - 3408 - 0983
橋 本 勇 治 (関東 P114)	事務所移転	東京都武蔵野市中町 1 - 37 - 5 平沼園ビル 401 〒180 TEL 0422 - 37 - 0719 FAX 0422 - 37 - 0741
樋 浦 洋 行 (関東 P116)	事務所移転	東京都杉並区上井草 2 - 43 - 6 パーセル井荻 202 〒167 TEL 03 - 3395 - 0530 FAX 03 - 3395 - 0337
浅 田 弘 之 (関西 P161)	自宅 FAX	FAX 0724 - 83 - 9600
今 西 隆 次 (関西 P164)	事務所移転	大阪府大阪市天王寺区細工谷 1 - 3 - 27

会 員 名	異 動 事 項	新
由 本 順 一 (関西 P187)	事務所名称 ・移転	ユニオン 大阪府大阪市中央区大手前1-3-59 大手前ビル412 〒540 TEL 06-949-1341
関 光 信 也 (九州 P196)	自宅町名変更	佐賀県佐賀市木原3丁目8-11
松 下 美 紀 (九州 P198)	事務所移転	福岡県福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡市SRPセンタービル607A 〒814 TEL 092-831-5757 FAX 092-831-5888
山 永 耕 平 (九州 P200)	新規FAX	勤務先 FAX 092-673-5799 (事務室) 自 宅 FAX 0940-33-2131

●賛助会員

会 員 名	異 動 事 項	新
株式会社内田洋行 (P206)	移転 担当者部署名	東京都中央区新川2-4-7 〒104 TEL 03-3555-4477 FAX 03-5566-0457 エンジニアリングセンター
コマニー株式会社 (P209)	担当者	市場開発本部 SD 販売部 営業第二 責任者 久保田 英治
株式会社シック (P)	移転	静岡県沼津市高砂町12-20 〒140 TEL 0559-22-9395 FAX 0559-22-9398
清水建設株式会社 (P210)	担当者	常務取締役設計本部長 藤江 澄夫 TEL 03-5441-0300 FAX 03-5441-0301
大成建設株式会社 (P212)	担当者・部署 住所 電話	設計第2部 部長 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル44F 〒163-06 TEL 03-5381-5265 FAX 03-3342-3924
トーソー株式会社 (P216)	担当者	商品開発室 近藤 友洋

●関連団体

団 体 名	異 動 事 項	新
日本人間工学会 (P262)	移転	東京都港区赤坂2-10-9 ランディック 第2赤坂ビル6F 〒107 TEL 03-3587-0278 FAX 03-3587-0284

サンカーペット(株)

(会員番号 3038)

〒593 大阪府堺市土師町 1714
TEL 0722-79-1222 FAX 0722-79-1226

社長室々長 有田利次

(社)商業施設技術団体連合会

(会員番号 3152)

〒108 東京都港区芝 5-26-20 建築会館
TEL 03-3453-8103 FAX 03-3453-8109

常務理事 観音寺 成

(株)サンゲツ

(会員番号 3039)

〒451 名古屋市西区幅下 1-4-1
TEL 052-564-3111
東京店 営業開発二課 課長代理 石田正樹
TEL 03-3474-1170

シーリーベッド(株)

(会員番号 3044)

〒441-01 愛知県宝飯郡小坂井町伊奈字佐脇原 415
TEL 05337-8-3191 FAX 05337-2-2362

代表取締役 西村克之

サンブリチ株式会社

(会員番号 3041)

〒105 東京都港区西新橋 2-28-4
TEL 03-3434-0808 FAX 03-3434-3765

営業部 次長 大迫弘文

スタッフナインハット(株)

(会員番号 3045)

〒104 東京都中央区銀座 3-14-16 第2ミビル 6F
TEL 03-5550-3800 FAX 03-3541-6987

代表取締役 堀田 誠

(株)シック

(会員番号 3153)

〒410 静岡県沼津市高砂町 12-10
TEL 0559-22-9395 FAX 0559-22-9398

代表取締役 亀井竹雄

住江織物(株)

(会員番号 3047)

〒108 東京都港区三田 3-13-16
TEL 03-3456-2271 FAX 03-3456-2270

東京デザイン部 課長 村井茂樹

清水建設(株)

(会員番号 3042)

〒105-07 東京都港区芝浦 1-2-3 シーバンス S 館
TEL 03-5441-0300 FAX 03-5441-0301

常務取締役 設計本部長 藤江澄夫

(株)住之江工芸

(会員番号 3048)

〒557 大阪市西成区南津守 7-15-8
TEL 06-659-2668 FAX 06-658-3897

代表取締役 荒井英雄

1996/8～9

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報 (1996年通巻 193号) 1996年9月10日発行

発行所/社団法人 日本インテリアデザイナー協会

発行人/泉 修二

〒160 東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー 8F

TEL 03-5322-6560 FAX 03-5322-6559

企画・編集/JID 本部事務局 印刷所/有限会社 コーエイ企画